

令和 8 年度 「改訂版 高等学校 公共」 (35・清水・公共901) シラバス案

教科	公民科	単位数	2 単位	学科	学年/学級
----	-----	-----	------	----	-------

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と社会についての見方・考え方を働かせる。 ・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。 ・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
使用教科書／教材	高等学校公民科「改訂版 高等学校 公共」 (35・清水・公共901)

観点別学習状況の評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

月	編	配当時間	学習内容 (目次)	学習のねらい (目標)	評価の方法
4 月		7	第 1 章 公共的な空間をつくる私たち 1 青年期の心理と課題 FILE 1 職業の選択とライフコース FILE 2 伝統文化を受け継ぐ主体として 2 哲学の始源と発展 ―ギリシア思想 3 唯一神の教え 4 東洋の宗教と思想 (1) ―仏教 5 東洋の宗教と思想 (2) ―儒教 6 日本の風土と神仏への信仰 7 江戸時代の学問と近代化への歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴と発達課題、人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について、東洋の思想や宗教と対比させながら思索させるとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 	【知識・技能】 【思考・判断・表現】統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート
5 月	第 1 編 公共の扉をひらく	5	第 2 章 公共的な空間と人間 1 近代的人間像の誕生 (1) ―近代の始まり 2 近代的人間像の誕生 (2) ―科学的な思考 3 国家社会と人間性 (1) ―義務論と功利主義 FILE 3 徳倫理学の問題提起 4 国家社会と人間性 (2) ―ヘーゲルとマルクス 5 国家社会と人間性 (3) ―実存主義 FILE 4 対話の意義―思想家の対話に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスや宗教改革の歴史、経験論や合理論などの科学的な思考を学ぶことを通して、ヒューマンイズムや宗教、自然と人間との関わりから近代化について理解させる。 ・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 ・ヘーゲルやマルクス、実存主義などの思想を通して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 	【知識・技能】 【思考・判断・表現】ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート

6月	第2編	基本的 人権の 尊重と 法	第3章 公共的な空間と基本的原理		
			1 公共性の復権と他者についての思考 2 公正な社会と個人ー現代の政治思想 PLUS① フェミニズム 3 生命倫理 FILE 5 代理出産を認めるべきか PLUS② ケアの倫理 4 環境倫理 FILE 6 環境を守るために何ができるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーバーマスやアーレント、ロールズらの政治理論を理解させ、構造主義や他者との関わりを尊重する思想と対比させながら、「公共的な空間」における「社会的存在」としての人間の在り方生き方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させ、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。 	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料・著作物などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
7月	第2編	基本的 人権の 尊重と 法	第1章 民主政治の原理と法の支配		
			1 近代国家と立憲主義 FILE 7 法の意義と役割 2 民主政治の進展と現代の民主政治 PLUS③ 世界の政治制度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会契約説を比較して個人と国家の関係を考察し、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・国民主権や代議制の成立や各種人権宣言の歴史を考察し、大統領制や議院内閣制という世界の政治体制の違いを理解させる。 	【知識・技能】憲法・原典資料などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
9月	第3編	現代の 民主	第2章 人権の尊重と日本国憲法		
			1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の三大原理と人権保障 3 平和主義と安全保障 FILE 8 沖縄の米軍基地と本土の目 4 平等権 5 自由権 FILE 9 政教分離と信教の自由について考えよう 9 FILE10 クォータ制について考えよう 6 社会権 7 参政権の保障と国務請求権 8 新しい人権 FILE11 家族形態の変化と価値観の多様化 9 グローバル化と国際人権 FILE12 憲法改正について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯を考察したうえで、日本国憲法の三つの基本原理を理解させる。 ・平和主義と国際協調主義を理解させ、日本をめぐる安全保障情勢の変化を踏まえ、日本の在り方について多面的・多角的に考察させる。 ・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。 ・現代の社会変化を踏まえ、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権や、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。 	【知識・技能】憲法・人権諸条約・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ディスカッション、作文
10月	第3編	現代の 民主	第1章 世論の形成と政治参加		
			1 世論の形成と民主社会 2 政治参加と民主主義 3 選挙と政党 FILE13 選挙に行こう！ FILE14 情報モラルについて考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、ネット社会における情報モラルに関わる意識を高めさせる。 ・選挙制度や政党政治のしくみについて理解させ、主権者（有権者）として主体的に政治参加する意義を理解させる。 	【知識・技能】新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ディスカッション、模擬活動（模擬投票など）
10月	第3編	現代の 民主	第2章 日本の政治機構		
			1 国会の役割としくみ 2 内閣と行政機関 FILE15 日本の議院内閣制の現状 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と司法参加 FILE16 裁判員制度と司法参加 FILE17 刑罰・更生と死刑制度 5 地方自治と住民の生活 FILE18 外国人住民の多い街	<ul style="list-style-type: none"> ・国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。 ・よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。 ・地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤と言われる意味を考えさせ、地域の課題について考察させる。 	【知識・技能】憲法・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】【思考・判断・表現】ディスカッション、模擬活動（模擬国会や模擬裁判など）

1 1 月	工 政 治 と 社 会 参 画	第3章 国際政治のしくみと役割			
		5	1 国際政治の成り立ち 2 国際連合の設立とその役割 FILE19 国際連合の課題 3 冷戦とその終焉 4 冷戦終結後の世界 PLUS④ 地域統合－ヨーロッパの統合 5 軍縮と安全保障	・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。 ・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。	【知識・技能】国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ディスカッション、模擬活動（模擬国連など）
		第4章 国際政治の現状と課題			
		4	1 現代の紛争 2 多文化・多民族社会に向けて 3 移民と難民 FILE20 パレスチナ問題について考えよう FILE21 難民問題－事例から考える 4 日本の戦後外交と課題 FILE22 原爆の記憶とその継承	・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。 ・平和主義と国際協調の立場から、日本の外交の課題や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。	【知識・技能】国連・外務省資料や新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート
1 2 月		第1章 私たちと経済活動			
		4	1 私たちの生活と経済社会 2 私たちの仕事と社会－職業選択 3 労働者としての私たち 4 消費者としての私たち FILE23 消費者の権利と責任	・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、職業選択、労働者の権利、消費者の権利と責任などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。	【知識・技能】新聞などを使ったワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート
1 月	第4編 現代の経済社会と国民生活	第2章 経済社会のしくみと役割			
		10	1 社会のしくみとしての市場と経済主体 2 市場の機能 PLUS⑤ 価格の決め方と需要曲線・供給曲線のシフト 3 市場機能と政府の役割 FILE24 市場の失敗 PLUS⑥ 経済社会の変容 4 企業の役割と意義 PLUS⑦ 産業保護の意義と課題－農業と中小企業 FILE25 もしも会社をつくるなら 5 金融とそのはたらき FILE26 人生とお金－リスクとリターンを考える 6 金融政策－日本銀行の役割 FILE27 企業の経営状態を知るには 7 政府のはたらき(1)－租税と財政 8 政府のはたらき(2)－社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性 FILE28 財政再建をどのように進めるか FILE29 少子高齢化と社会保障の問題を考える 10 GDPと付加価値の考え方 FILE30 豊かな社会と経済指標 PLUS⑧ 日本経済のあゆみ FILE31 循環型社会と公害防止	・市場経済の機能、価格の自動調節機能について理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。市場の失敗から、政府の役割をとらえさせる。 ・経済体制の特徴と変遷を理解させる。 ・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。 ・産業保護の課題や起業について基礎的な内容を考察させる。 ・金融政策と日本銀行の役割、政府の財政政策と少子高齢化に対応した社会保障政策について理解させる。 ・GDPを中心とした経済指標を理解させ、付加価値の意味を理解させる。経済成長と景気変動について考察させ、インフレやデフレについて理解させる。 ・第二次世界大戦後の日本経済の歩みを理解させる。高度経済成長、バブル経済、バブル崩壊と長期不況を経た日本経済の現状について理解させる。 ・豊かさの指標、公害、環境保全、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。	【知識・技能】新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】 【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、模擬活動（模擬投資、模擬起業など）
2 月					

3月	第5編 持続可能な社会をつくる	第3章 国際経済の現状と課題		
		4	<p>1 国際取引と外国為替・国際収支 PLUS⑨ 国際収支の読み取り方</p> <p>2 自由経済とグローバル化 FILE32 限りある資源とエネルギー 持続可能な社会のために</p> <p>3 世界経済の課題 FILE33 中国とインド 世界経済における地位</p> <p>4 持続可能な開発と国際貢献 FILE34 学びと経済</p>	<p>・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。</p> <p>【知識・技能】統計データ・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、レポート</p>
		3	<p>課題探究のスキル</p> <p>Theme 1 人間は人工知能（AI）とどのように共存すればよいか？</p> <p>Theme 2 何のために環境を守るのか？</p> <p>Theme 3 食料と水資源の配分をどう考えるか？</p>	<p>・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・持続可能な社会づくりを担う、公共の精神をもった自立した主体として、主体的に社会に参画し、共に生きる社会を築くという姿勢を身につけさせる。</p> <p>【知識・技能】統計データ、著作物、新聞などからの読み取り、ワークシート 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>